

愛知の土地改良

第189号

平成29年5月1日



Land improvement of Aichi

□ 第59回 通常総会開催	2
□ 農業用排水機県営移管期成同盟会第56回通常総会開催	4
□ 愛知県農業用水小水力等発電推進協議会通常総会開催	4
□ 愛知県農地水多面的機能推進協議会通常総会開催	5
□ 全国水土里ネット表彰式開催	6
□ 愛知県農地水多面的機能推進協議会幹事会開催	7
□ 産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会開催	7
□ 平成29年度愛知県予算	8
□ 水土里ネット役職員研修会開催	9
□ 愛知県農業用水小水力等発電導入技術力向上地方研修会開催	9
□ 愛知県多面的システム操作研修会開催	10
□ あいち水土里情報システム利用団体説明会開催	10
□ 会員情報 明治用水世界かんがい施設遺産登録記念式典及び記念祝賀会	11
□ 土地改良区体制強化事業情報	12
□ 平成29年度本会参与	12
□ 水土里ネット愛知人事異動	13
□ 水土里ネット愛知事務局機構	14

海に見えるみかん畑

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016

文部科学大臣賞

半田市立雁宿小6年 榊原悠斗さんの作品

みどり
水土里ネット愛知
水土里ネット 発行/愛知県土地改良事業団体連合会
新農村創造 名古屋西区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)

<http://www.aichi-doren.or.jp>

第59回通常総会 開催

～提出議案原案通り議決される～

本会の第59回通常総会を3月17日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、大村秀章愛知県知事始め、田辺義貴東海農政局長、鈴木孝昌愛知県議会議長、安藤正明愛知県議会農林水産委員長ほか、国、県の関係者多数の来賓を迎え、会員130名余が出席して開催した。

総会は、小久保三夫副会長の開会のことばに始まり、中野治美会長の挨拶の後、土地改良功労者7名に対し大村愛知県知事より、また土地改良団体職員永年勤続者7名に対し中野会長より、表彰状と記念品が授与された。続いて大村愛知県知事、田辺東海農政局長、鈴木愛知県議会議長よりそれぞれ祝辞をいただき議事に入った。議長には、早



中野会長挨拶

川利之木津用水土地改良区理事長が選任され、平成27年度事業報告並びに収支決算、平成29年度事業計画並びに収支予算等、提出議案はいずれも原案通り議決された。

また、役員2名の補欠選任が諮られ、理事には山本信介氏(学識経験者)、監事には平野瞳氏(十四山土地改良区理事長)が選任された。続いて県内の土地改良事業のより一層の推進を図るため、国及び県に対する要望決議を全会一致で採択し、最後に川上万一郎理事の閉会のことばで総会を終了した。

なお、総会終了後、理事により、専務理事の互選が行われ、山本信介氏が選任された。



議長を務める早川理事長

愛知県知事表彰

所 属・役 職	氏 名 (敬称略)
富田町土地改良区理事長	服 部 豊
日光川西悪水土地改良区理事長	服 部 淳 二
東浦町土地改良区理事長	竹 田 正 巳
東阿知和土地改良区理事長	内 田 利 治
矢作川南部土地改良区理事	倉 地 勇 吉
みよし土地改良区理事長	久 野 知 英
二川土地改良区理事長	森 長 友 幸

以上7名



受賞者を代表して大村知事より表彰状を受け取る竹田理事長

土地改良事業推進に関する要望決議

農業・農村では、本格的な人口減少社会の到来により、過疎化、高齢化、担い手不足等による農地の荒廃や、農業用水等の管理及び営農の継続への影響が懸念され、激変する国際情勢や経済対策などの課題が山積するなど、農業、農村を取り巻く環境は大きく変化しつつある。

こうした中、土地改良事業により生産性の高い優良農地と安定した農業用水を確保することは、我が国の農業の基礎を支え、競争力を高め、強い農業を実現するうえで、ますます重要となっている。

また、東日本大震災や各地で頻発する集中豪雨の猛威を目的の当たりにし、本県においては、南海トラフ巨大地震への対策や、平成十二年の東海豪雨を教訓とした排水対策など、地域の防災・減災対策を担い強靱な県土づくりに資する土地改良事業に対し、県民の要望は一層高まっている。

併せて、農業用水の管路化を先駆的に実施してきた本県では、当時多用された石綿セメント管が今なお存置されており、施設の老朽化や大規模地震により破損した場合、石綿粉じんの飛散による健康への被害が懸念される。

さらに本県の土地改良事業には、美しく快適な農村環境の形成や、農村地域における生物多様性の保全、農村の水資源を活用した小水力発電の普及など、環境先進県としての愛知を形作ることが求められている。

我々土地改良関係者は、貴重な資源である「水」と「土」を守り育み、地域の安全・安心を確保するため、土地改良事業が地域の合意に基づき、地域に密着した、真に必要な事業であることを強く訴えるとともに、「闘う土地改良」のスローガンの下、今後とも事業が着実に推進できるように強く要望する。

記

- 一、土地改良事業は農業の成長産業化に資するとともに、県民の命と暮らしを守り地域全体の発展を支えていることから、国、県、市町村予算を積極的に確保し、国営事業、水資源機構構営事業、県営・団体営事業を一体的に推進すること
- 一、米の生産調整の見直し及び飼料用米等の本作化による水田のフル活用等を踏まえ、多様な水利用への対応を表現し、競争力を強化すること
- 一、石綿セメント管の除去対策をより一層促進するため、国による更なる地元負担の軽減を図ること
- 一、地域に密着し、よりきめ細かい農業農村整備を進めるため、地元負担の軽減及び採択要件の緩和を図り、単独県費補助事業を推進すること
- 一、貴重な地域資源である農地、農業用水を保全し、農業の持つ多面的機能の発揮に寄する多面的機能支払交付金について、現場の農業関係者の意向を十分反映するとともに円滑な活動運営ができるよう推進すること
- 一、基幹的水路密度日本一のポテンシャルを活用した小水力発電など、農村の地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用の普及に一層取り組むこと
- 一、土地改良施設維持管理に対する財政支援を拡充・強化すること
- 一、土地改良団体の育成強化と事業推進体制を一層整備すること

右決議する。

平成二十九年三月十七日

愛知県土地改良事業団体連合会
第五十九回 通常総会

愛知県土地改良事業団体連合会会長表彰

所 属	氏 名 (敬称略)
◆一宮支会	
一 宮 市	田 中 雅 光
一 宮 市	河 田 哲 郎
◆海部支会	
愛 西 市	山 田 哲 司
弥 富 土 地 改 良 区	鈴 木 良 典
◆半田支会	
愛 知 用 水 土 地 改 良 区	加 藤 嘉 子
愛 知 用 水 土 地 改 良 区	磯 谷 雅 人
◆豊田支会	
豊 田 市	山 内 良 志

以上7名



受賞者を代表して中野会長より表彰状を受け取る山内良志氏

農業用排水機県営移管期成同盟会 第56回通常総会 開催

2月15日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、農業用排水機県営移管期成同盟会の第56回通常総会が、来賓に山本信介農林基盤局長始め、平野隆久農地整備課長及び各農林水産事務所長を迎え、会員多数出席のもと開催された。

総会は川上万一郎副会長(矢作川南部土地改良区理事長)の開会のことばに始まり、浜田一徳会長(孫宝排水土地改良区理事長)の挨拶がなされた後、農業用排水機技術者である、立田輪中悪水土地改良区の伊藤幹雄氏、碧南市の杉浦真人氏2名の永年勤続表彰を行い、浜田会長から感謝状と記念品が贈られた。

続いて議事に入り、議長には浜田会長が選任され、平成27年度事業報告・同収支決算承認、平成29年度事業計画・同会費の徴収基準・同収支予算について審議し、原案どおり可決承認された。



議長を務める浜田会長

議事終了後、山本農林基盤局長から祝辞が述べられ、続いてご臨席いただいた来賓の紹介を行い、最後に伊藤幸伸副会長(田原市土地改良区理事長)の閉会のことばで総会の幕を閉じた。

愛知県農業用水小水力等発電推進協議会 通常総会 開催

— 大村愛知県知事を迎え盛大に開催 —

2月8日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、愛知県農業用水小水力等発電推進協議会の通常総会が、大村秀章愛知県知事始め、来賓に鈴木孝昌愛知県議会議長、田辺義貴東海農政局長ほか、県、水資源機構の関係者を迎え、会員59団体が出席のもと開催された。

この協議会は、愛知県における農業用水を始めとする農業用施設を利用した小水力発電等を推進することにより、再生可能エネルギーの利用促進を図ると共に、土地改良関係団体の社会貢献及び経営基盤の強化に資することを目的として設立されており、104団体(市町、土地改良区、多面的機能支払活動組織など)が加入している。

総会は、山本信介愛知県農林基盤局長の開会のことばに始まり、中野治美会長の主催者挨拶、大



中野会長による主催者挨拶

村愛知県知事の挨拶、来賓祝辞として、鈴木愛知県議会議長、田辺東海農政局長より述べられた後、議事に入った。付議された平成27年度事業報告、同収支決算及び財産目録、平成29年度事業計

画、同収支予算、役員を選任はいずれも原案通り議決され、青木章雄専務理事の閉会のことばで総会は終了した。

総会終了後、引き続き「小水力等発電導入技術力向上地方研修会」が行われた。(記事は9ページに記載)



大村愛知県知事による挨拶

愛知県農地水多面的機能推進協議会 通常総会 開催

愛知県農地水多面的機能推進協議会は、多面的機能支払交付金事業を推進するにあたり、地域の推進体制として協議会会員や活動組織等に対する支援体制の拡充・強化を目指して活動してきた。

通常総会は3月29日、愛知県土地改良会館7階大会議室において50会員が出席して開催した。総会の開催にあたり、中野治美愛知県農地水多面的機能推進協議会長より「本事業は、事業開始から10年目となり、活動期間の区切りを迎える組織が多くあり、ほとんどの組織が継続すると聞いている。そして、平成27年度の法制化により、会員や活動組織を対象とした説明会・研修会の開催、活動組織に対する指導など、本協議会の役割がますます重要になってきた。また、地域の活動組織においても、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地、水路、農道等の地域資源の適切な保全管理や良好な景観の形成等、農村環境の保全に積極的に取り組んでいく必要がある」と挨拶された。

この後、中野会長を議長に、議事録署名者2名を選任し議事に入った。提出した下記議案について、それぞれ上程され、ともに可決・決定された。



議長を務める中野会長

最後に、閉会のことばとして推進協議会副会長の山本信介愛知県農林基盤局長より「今年度は2期対策が5年目を迎え、全体の約6割の組織が活動期間の満期を迎えたが、会員皆様のおかげでほとんどの組織が継続することになった。愛知県としても引き続き農業農村多面的機能支払事業を推進するので、今後とも新たな活動組織の掘り起しにご協力をお願いします。また、事務負担の軽減に繋がる活動組織の合併などの調整も進めて頂きたい。美しく、活力のある愛知県の農業・農村が創り上げられますようご協力をお願いします」と挨拶され通常総会を終了した。

記

提出議案

- 第1号議案 平成27年度事業報告承認について
- 第2号議案 平成27年度多面的機能支払推進交付金会計収支決算承認について
- 第3号議案 平成29年度事業計画について
- 第4号議案 平成29年度多面的機能支払推進交付金会計収支予算について

全国水土里ネット表彰式 開催

3月24日、全国水土里ネット総会に引き続き、第58回土地改良功労者表彰及び農業農村整備コンクール優良地区表彰並びに21世紀土地改良区創造運動表彰が東京都千代田区平河町シェンバツハ・サポーにおいて開催された。農林水産省からは、山本有二農林水産大臣を始め、佐藤速水農村振興局長ら幹部の方々、また、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員が出席し、全国より受賞者を始め多数の関係者が参集した。

二階俊博全国水土里ネット会長は、受賞地域・受賞者に対し、「本日表彰の栄に浴される方々は、それぞれの地域で長年に亘り農業農村の発展に日夜ご努力をいただき、多大な功績を残された方ばかりである。風雪に耐えぬかれた力と豊富な経験・識見は、これからの我が国の農業農村を発展させていく上で、特に重要であり、貴重なものである」との賛辞を送った。さらに、「今後とも引き続き、土地改良事業の推進にご尽力いただきたい」とさらなる取り組みを求めた。

山本農林水産大臣は、「政府においては、昨年11月に農業競争力強化プログラムを取りまとめた。このプログラムには土地改良制度の見直しが入っており、農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化をさらに進めるため、農地中間管理機構が中間管理権を設定した農地で、農家負担を求めない新しい事業を創設することを目的としている」と述べたあと、「表彰者の方々は今日にいたるまで、団体の良好な運営、農業の生産性の向上、個性ある地域づくり等に大きな成果をあげてこられた。これを支える予算については、平成29年度当初予算案において、4,020億円を計上した。また平成28年度第2次補正予算を含めると、平成22年度の大幅な削減前の水準まで回復してきた。今後とも土地改良事業の一層の推進



二階全国水土里ネット会長挨拶

に努めるとともに、夢と希望の持てる農政新時代の創造に全力で取り組んでいく」と決意を述べた。

また、進藤参議院議員は、「農地と水が持つ機能を維持し、高めていくのが土地改良事業である。我が国にとって土地改良事業は命綱であり、これを支えていただいているのが、受賞者の皆様方である。皆様の功績を次の世代に引き継ぐのも我々の仕事であると考えている。今後も「闘う土地改良」を掲げ、予算を確保して効果を出していく」と述べた。

表彰式は、農林水産大臣表彰、農村振興局長表彰、全国水土里ネット会長表彰の順に行われ、優良土地改良区として、農林水産大臣表彰5地区、農村振興局長表彰2地区、全国水土里ネット会長表彰の金賞38地区、銀賞49地区、銅賞27地区、個人表彰116名に表彰状が贈られた。また、農業農村整備優良地区コンクール表彰では、農業生産基盤整備部門において農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞4地区、全国水土里ネット会長賞7地区、農村振興整備部門において農林水産大臣賞2団体、農村振興局長賞2団体、全国水土里ネット会長賞3団体にそれぞれ表彰状が贈られた。続いて21世紀土地改良区創造運動表彰が行われ、大賞2地区、部門賞3地区、さなえ賞3地区に表彰状が贈られた。



山本農林水産大臣挨拶



進藤参議院議員挨拶

第58回土地改良功労者表彰

【団体表彰】

金章	額田土地改良区
銀章	小切戸用悪水土地改良区
銀章	豊橋北部土地改良区

【個人表彰】

青木 章雄	(水土里ネット愛知 専務理事)
長坂 紀	(水土里ネット愛知 事務局長)

 受賞の栄に浴された団体並びに個人の方々に心よりお慶び申し上げます。

愛知県農地水多面的機能推進協議会幹事会 開催

3月15日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において「愛知県農地水多面的機能推進協議会幹事会」が開催された。

この協議会の会員は、愛知県並びに県内の多面的機能支払交付金事業を実施している市町村及び関係土地改良区等70会員で、県内の多面的機能支払交付金事業の推進活動を実施している。

今回の開催は、平成27年度の協議会事業、収支決算についての報告と活動組織等への推進活動を新年度早々から実施するため、平成29年度の協議会事業計画、収支予算を総会に諮るため開催したものである。

幹事会は、11幹事中9幹事の参加のもと開催され、下記協議事項が審議され、全議案承認された。



挨拶を行う勝又農地環境対策監

記

第1号議案 平成28年度通常総会について

第2号議案 平成28年度通常総会付議事項について

【参加幹事：愛知県、小牧市、稲沢市(欠席)、愛西市、常滑市、安城市(欠席)、西尾市、豊田市、新城市、豊橋市、水土里ネット愛知】

産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会 開催

3月23日、産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会が、愛知県土地改良会館6階第1研修室において、委員15名、オブザーバー13名の出席により開催された。本委員会は、愛知県における農業用水を利用した小水力発電について、産学官と土地改良関係団体の協働連携により県内全域へ普及し、農村資源の有効活用と再生

可能エネルギー供給システムの実現を目指すとともに、県内関連産業の振興支援を図ることを目的に設置されたもので、今回で8回目の開催となった。

委員会は、座長である勝又久幸愛知県農林基盤局農地環境対策監の挨拶の後、議事に入った。

協議された議題及び内容は下記のとおり。

- 1 県内における取組状況について
- 2 推進協議会からの検討依頼
設楽町津具地内小水力発電施設
- 3 固定価格買取制度(平成29年度以降の調達価格等)について
- 4 小水力等再生可能エネルギー導入支援事業等について
- 5 富山県の小水力発電について



挨拶を行う座長の勝又農地環境対策監

(千円)

平成29年度 愛知県 予算

土地改良関係予算総額は、400億円

愛知県では、二月二十日から三月二十四日までの定例県議会において、一般会計二兆五二〇九億六三〇〇万円、特別会計七六六一億七〇二五万円、企業会計一九七五億二五八二万円の平成二十九年度当初予算案が審議され、可決成立した。
また、平成二十八年年度補正予算についても審議され、その内、土地改良関係の補

正予算五億七二一九万円が可決成立した。
この補正予算の内、公共事業においては、平成二十九年度へ繰り越され執行されることとなった。
なお、土地改良関係の予算は次のとおり。

平成29年度予算①			平成28年度 12月・2月 補正②	計(①+②)	平成28年度 当初予算		
区分	予算額	内 訳					
土地改良事業費	10,128,705	(1)公共事業	7,547,512	1,889,274	9,436,786	6,224,702	
		ア 県営土地改良事業費	7,182,356	1,755,624	8,937,980	5,693,419	
		(ア)かんがい排水事業費 3地区	791,238	0	791,238	477,928	
		(イ)水環境整備事業 10地区	264,453	0	264,453	286,750	
		(ウ)水質保全対策事業費 9地区	631,932	50,000	681,932	435,443	
		(工)畑地帯総合土地改良事業費 1地区	318,622	137,766	456,388	286,754	
		(オ)経営体育成基盤整備事業費 22地区	2,438,835	1,391,706	3,830,541	1,021,709	
		(カ)広域営農団地農道整備事業費 2地区	700,969	68,152	769,121	615,993	
		(キ)農地環境整備事業費 4地区	519,771	0	519,771	233,656	
		(ク)農業水利施設保全対策事業費 16地区	1,454,513	108,000	1,562,513	1,773,364	
		(ケ)小水力等発電施設整備事業費 2地区	62,023	0	62,023	556,520	
		排水対策特別事業費	0	0	0	5,302	
		イ 団体営土地改良事業費	365,156	133,650	498,806	531,283	
		(ア)事業費補助金	354,039	133,650	487,689	512,045	
		a 農村振興総合整備事業費補助金	105,472	0	105,472	57,540	
		b 農業集落排水事業費補助金	132,736	0	132,736	200,300	
		c 基盤整備促進事業費補助金	115,831	133,650	249,481	254,205	
		(イ)指導事務費	11,117	0	11,117	19,238	
		(2)単県事業	2,571,000	0	2,571,000	2,608,000	
		ア 小規模かんがい排水事業費補助金	66,000	0	66,000	67,000	
		イ 山村振興営農環境整備事業費補助金	62,000	0	62,000	63,000	
		ウ 土地改良事業費補助金	1,443,000	0	1,443,000	1,478,000	
		エ 災害関連緊急土地改良事業費補助金	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	
		(3)基幹水利施設技術指導事業費補助金	4,581	0	4,581	6,360	
	(4)中心経営体農地集積促進事業費補助金	5,612	0	5,612	5,450		
農地防災事業費	13,822,650	(1)公共事業	11,747,781	3,685,136	15,432,917	11,685,202	
		県営農地防災事業費	11,747,781	3,685,136	15,432,917	11,685,202	
		(ア)たん水防除事業費 39地区	4,828,085	2,062,000	6,890,085	5,571,053	
		(イ)老朽ため池等整備事業費 5地区	191,173	111,300	302,473	206,029	
		(ウ)用排水施設整備事業費 2地区	185,010	0	185,010	63,724	
		(工)地盤沈下対策事業費 15地区	2,168,754	675,000	2,843,754	1,799,339	
		(オ)海岸整備事業費 14地区	1,677,648	0	1,677,648	964,117	
		(カ)防災ダム事業費 44地区	929,838	279,000	1,208,838	1,816,555	
		(キ)国営附帯県営農地防災事業費 1地区	3,181	0	3,181	37,695	
		(ク)特定農業用管路特別対策事業費 15地区	1,650,462	467,836	2,118,298	961,166	
		(ケ)震災対策農業水利施設整備事業費 3地区	109,389	90,000	199,389	265,524	
		(コ)排水施設保全対策事業費 1地区	4,241	0	4,241	0	
		(2)単県事業	2,074,869	0	2,074,869	3,007,757	
		ア 緊急農地防災事業費	1,475,407	0	1,475,407	2,111,224	
		(ア)排水施設整備事業費	1,309,293	0	1,309,293	1,862,766	
		(イ)老朽ため池整備事業費	150,390	0	150,390	223,063	
		(ウ)応急排水機整備事業費	15,724	0	15,724	25,395	
		イ 緊急海岸整備事業費	154,000	0	154,000	462,000	
		ウ 土地改良施設維持管理費	440,660	0	440,660	429,683	
		(ア)海岸堤防維持管理費	13,660	0	13,660	13,683	
		(イ)排水機維持管理費補助金	427,000	0	427,000	416,000	
		エ 応急排水機管理費	4,802	0	4,802	4,850	
	土地改良諸費	5,386,905	(1)公共事業	825,075	0	825,075	1,242,974
			ア 県営土地改良諸事業費	777,955	0	777,955	1,201,122
		(ア)農村総合対策事業費 1地区	19,110	0	19,110	35,038	
		(イ)土地改良施設耐農対策事業費 8地区	758,845	0	758,845	1,166,084	
		イ 団体営土地改良諸事業費	47,120	0	47,120	41,852	
		土地改良調査設計費補助金	47,120	0	47,120	41,852	
		(2)直轄土地改良事業費負担金	2,336,903	△ 3,114	2,333,789	3,056,284	
		(3)矢作川利水総合管理費	528,584	0	528,584	341,148	
		(4)尾張西部排水施設管理費	105,466	0	105,466	109,032	
		(5)土地改良計画調査費	4,859	0	4,859	6,339	
		(6)排水対策調査費	168	0	168	198	
		(7)中山間ふるさと・水と土保全基金利子収益積立金	120	0	120	—	
		(8)中山間ふるさと・水と土保全対策事業費	8,625	0	8,625	8,625	
		(9)農業農村多面的機能支払事業費	1,574,420	0	1,574,420	1,597,420	
	ア 交付金	1,531,614	0	1,531,614	1,531,614		
	イ 推進事業費	42,806	0	42,806	65,806		
	(10)土地改良指導費	2,685	0	2,685	2,743		
農業用水費	10,655,124	1 木曾川用水事業費	194,499	0	194,499	207,005	
		2 豊川用水事業費	4,523,862	0	4,523,862	4,664,350	
		3 愛知用水事業費	5,936,763	0	5,936,763	5,631,320	
農地施設 災害復旧費	89,417	1 農地施設災害復旧費	89,417	0	89,417	45,000	
総 額	40,082,801		40,082,801	5,571,296	45,654,097	40,449,909	

■ 水土里ネット役職員研修会 開催

1月18日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、県内64の水土里ネットから役職員総勢94名(役員37名、職員57名)の参加を得て水土里ネット役職員研修会を開催した。

初めに青木専務理事より挨拶を行い、講師は、下記カリキュラムにあるように東海農政局から迎え、水土里ネットをめぐる最近の情勢、不祥事件の未然防止、水土里ネットにおける監事監査についてご講義いただいた。続いて、愛知県農林基盤局より、土地改良区検査の結果について、名古

屋国税局より水土里ネットにおける税金の取扱いについてご講義いただいた。



青木専務理事挨拶

[カリキュラム]

時間	研修内容	講師(敬称略)
10:30~10:40	開 会	水土里ネット愛知 専務理事 青木章雄
10:40~11:20	水土里ネットをめぐる最近の情勢	東海農政局土地改良管理課 課長 深見宏
11:20~12:00	不祥事件の未然防止について	東海農政局土地改良管理課 団体指導・資金係長 浦井信雄
13:00~14:30	水土里ネットにおける監事監査について	東海農政局土地改良管理課 課長補佐 石田昭弘
14:40~15:30	土地改良区検査の結果について	愛知県農林基盤局農地計画課 主査 池田温美
15:30~16:00	水土里ネットにおける税金の取扱い 「消費税及び源泉所得税」	名古屋国税局調査部調査開発課 連絡調整官 土田重男
16:00~	閉 会	水土里ネット愛知 事務局長 長坂紀

■ 小水力等発電導入技術力向上地方研修会 開催

2月8日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、愛知県農業用水小水力等発電推進協議会総会終了後に引き続き、県、市町村、水土里ネット等職員87名の参加を得て、小水力等発電導入技術力向上地方研修会を開催した。

研修会は、小水力発電施設・太陽光発電施設の運営、維持管理を土地改良区自らが実施されている、岐阜県揖斐川町の西濃用水土地改良区連合の松下主査より、小水力発電及び太陽光発電に対する取組について説明を受けた。

また、小水力発電施設メーカーからの事例紹介

として、NTN株式会社と八洲電機株式会社の2社より説明を受けた。



小水力発電施設メーカーによる説明

[カリキュラム]

研修内容	講師(敬称略)
1 地域と共に歩む西濃用水 ～小水力発電及び太陽光発電の取組について～	西濃用水土地改良区連合 主査 松下 義文
2 小水力等発電施設の導入について (小水力発電施設メーカーによる説明) ①用水路を活用した水力発電機の新提案	NTN株式会社 自然エネルギー商品事業部 技術部 部長 勝又 龍介
②自然エネルギーを活用した省エネシステム	八洲電機株式会社 社会インフラ事業部 インフラシステム一部 部長 森部 輝樹

愛知県多面的システム操作研修会 開催

平成26年度に、水土里情報システムを活用した多面的機能支払交付金を円滑に進めるための「愛知県多面的システム」を構築し、①各活動組織の面積管理②各活動組織の施設管理③耕作放棄地対策等に活用して、市町村が行う現地確認の執行や活動計画書等をスムーズに作成出来るシステムとなっており、毎年利用団体を対象とした操作研修会を開催している。

本年度は平成28年12月9日に愛知県土地改良会館6階第2研修室において開催した。(参加20団体)

《研修会の内容》

- ①協定図面、促進計画区域図の印刷について
 - ・対象農用地及び施設の管理を行い図面印刷を行う説明をした。

- ②現地確認端末(タブレット)による調査について
 - ・保全状況の確認をタブレットで行う操作について説明した。
- ③確認野帳の整理、写真の整理について
 - ・確認結果を簡単に整理できるツールの利用方法を説明した。



あいち水土里情報システム利用団体説明会 開催

水土里情報システムは、平成23年度の運営開始から5年が経過し、現在64団体が利活用されている。本会では毎年、利用団体を対象とした説明会を開催しており、3月14日、愛知県土地改良会館7階大会議室において開催し、平成28年度の運営報告及びシステム改良等の説明を行った。

《説明会の内容》

- ①水土里情報システム運営報告について
- ②水土里情報システムの改良について



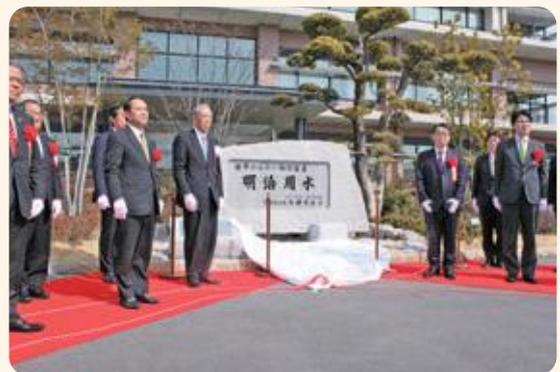
- ・今年度10月以降に改良された項目について説明した。
- ③仮想サーバーへの証明書の更新について
 - ・ネットワークの利用方法が変更されている事例の説明をした。
- ④農地情報の活用について
 - ・農業生産力パワーアッププロジェクトでの活用を説明した。
- ⑤施設情報の活用について
 - ・プラットホームデータの格納について説明した。
 - ・平成29年度より予定されている農業水利施設可視化事業の説明をした。
 - ・ため池一斉点検の結果を活用する事例について説明した。

明治用水 世界かんがい施設遺産登録記念式典及び記念祝賀会

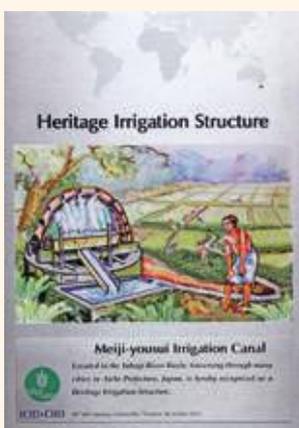
3月18日、水土里ネット明治用水では、大村秀章愛知県知事始め多数の来賓のご出席のもと、ホテルグランドティアラ安城において、世界かんがい施設遺産登録記念式典及び記念祝賀会が行われた。神谷金衛明治用水土地改良区理事長は、「矢作川を水源とする明治用水は、都築弥厚翁を始め多くの先人達の努力により築かれた農業用水で、明治13年(1880年)に開削されて以来、水の乏しかった碧海大地を潤し、「日本デンマーク」と謳われるほどの農業先進地となった。旧明治用水頭首工では、人造石(三和土)を用いた堰堤の一部が今も姿をとどめ、その歴史を多くの人に伝え続けている。現在も、明治用水土地改良区では、「水を使うものは自ら水をつくれ」の理念のもと、水源かん養林を育み、水をつくり、水を守るという取り組みに力を注ぎながら、パイプライン化された上部敷地を遊歩道・公園等に利用し、用水の持つ多面的機能の発揮にも努めている。今後も、「世界かんがい施設遺産登録」の誇りを胸に、先人たちの遺徳を守り継承していく使命を全うし、役職員一同日々邁進していきたい」と挨拶された。



神谷理事長挨拶



記念碑



登録楯



登録証

登録証 和訳

日本国愛知県の多くの都市にまたがる矢作川流域に位置する明治用水を、「人造石」と呼ばれる人工の石を用いた堰堤の建設、官民連携による貢献及び農家の自発的な水路維持管理の卓越した例であるため、ICID世界かんがい施設遺産に登録する。

土地改良区体制強化事業情報

▶農業基盤整備資金の金利のご案内

平成29年3月21日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。
金利は金融情勢により変動します。

最新の金利は名古屋支店農林水産事業農業食品第二課（TEL052-582-0745）にお問い合わせください。

区 分	利率一覧（平成29年3月21日現在）				
	借入期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年
県営補助残	0.45%	—	—	—	—
団体営補助残	0.30%	—	—	—	—
非 補 助	0.30%	—	—	—	—
災 害 復 旧	—	0.20%	0.20%	0.25%	0.30%

▶土地改良施設の診断・管理指導実績 平成28年度の診断・管理指導は、次のとおりです。

診断・管理指導土地改良区等数			診断・管理指導施設数							指 導 延日数
土地改良区	市町村	計	頭首工	排水機	揚水機	水路	樋水門	ため池	計	
37地区	29地区	66地区	3箇所	34箇所	24箇所	40箇所	3箇所	8箇所	112箇所	104日

▶土地改良事業に関する法律相談

平成29年度の土地改良法律相談予定日は、次のとおりです。

詳細は、計画課または関係支会にお問い合わせください。

相談日 ▶平成29年6月6日（火）、9月6日（水）、12月6日（水）、平成30年3月6日（火）

場 所 ▶愛知県土地改良会館 **相談員** ▶弁護士 大場 民男 **相談依頼者** ▶愛知県、市町村、土地改良区（連合）

愛知県農林水産部の人事異動に伴い、 平成29年度の本会参与に次の方々にご就任いただきました。

（敬称略）

愛知県農林水産部農林基盤局長	勝 又 久 幸	愛知県海部農林水産事務所長	津 田 新 太
愛知県農林水産部農林基盤局次長	澤 田 陽 一	愛知県知多農林水産事務所長	平 井 進
愛知県農林水産部農林基盤局 農地環境対策監	中 根 俊 樹	愛知県西三河農林水産事務所長	森 本 真 治
愛知県農林水産部農林基盤局 農地計画課長	宮 林 和 男	愛知県西三河農林水産事務所 幡豆農地整備出張所長	武 田 憲 明
愛知県農林水産部農林基盤局 農地整備課長	尾 畑 厚 志	愛知県豊田加茂農林水産事務所長	松 原 光 彦
愛知県尾張農林水産事務所長	宮 本 浩 希	愛知県新城設楽農林水産事務所長	近 藤 和 幸
愛知県尾張農林水産事務所 一宮支所長	澤 田 清 光	愛知県東三河農林水産事務所長	中 村 直 文

3月31日付

定年退職	長 坂 紀	定年退職	渡 辺 幹
定年退職	宇佐美 忍	定年退職	戸鹿島 芳 三
定年退職	村 上 義 邦	定年退職	竹 内 雅 彦
定年退職	水 野 浩	定年退職	杓 名 哲 也

4月1日付

新	氏 名	旧
事務局長	竹下伸二	事業部長
事業部長	服部厚宣	事業部整備課長
事業部次長(兼)整備課長	異相啓一	岡崎支会事務長
事業部計画課長	伊藤 守	事業部計画課主幹
岡崎支会事務長	平野隆浩	事業部整備課室長
豊田支会事務長	山本一彦	事業部計画課長補佐
事業部計画課主幹(兼)課長補佐	佐藤広尚	事業部計画課長補佐
事業部計画課長補佐	三世達矢	事業部調査課長補佐
幡豆支会事務長	酒井貴志	事業部整備課長補佐
事業部整備課長補佐	山田哲也	事業部整備課係長
事業部計画課係長	平野浩幸	事業部調査課主査
事業部施設管理課係長	井上敬將	事業部施設管理課主査
事業部計画課主任主査	小池義夫	事業部調査課主任主査
事業部整備課主査	大久保徳之	事業部施設管理課主査
事業部整備課主査	中野拓也	事業部整備課技師
事業部計画課主事	内山智会	事業部調査課主事
事業部計画課技師	戸谷武志	事業部整備課技師
事業部計画課技師	鳥居充裕	事業部整備課技師
事業部計画課技師(新規採用)	松浦 完	
事業部整備課技師(新規採用)	奥村 輝	
総務部管理監(囑託)	長坂 紀	

会長	中野 治美	}	総務部長	加藤 吉仁	}	総務課長	水谷 秀光
専務理事	山本 信介		事業部長	服部 厚宣		主幹	竹田 裕司
事務局長	竹下 伸二		事業部次長	異相 啓一		管理監	長坂 紀

(事務局事務推進(受託事務調整含む)・集積(中間管理機構)担当)

計画課長 伊藤 守
主幹 佐藤 広尚
技術監 樋口 利彦
(教育訓練(内外研修)、計画調査担当)

調査官 宇佐美 忍
(換地)

専門監 鈴木 敏生
(多面的推進交付金担当)

調査官 村上 義邦
(水土里)

(兼)整備課長 異相 啓一

指導監 鈴木 啓之
(内部検査、測量設計施工管理担当)

推進監 横井 弘忠
(受託業務調整・管理、集排業務担当)

施設管理課長 齋藤 謙三

調整監 近藤 博
(適正化・施設管理担当)

名古屋支会事務長 水野 浩

一宮支会事務長 桑山 豊

海部支会事務長 池田 仁

半田支会事務長 小笠原 和彦

岡崎支会事務長 平野 隆浩

幡豆支会事務長 酒井 貴志

豊田支会事務長 山本 一彦

豊橋支会事務長 戸鹿島 芳三

みどり 水土里ネット愛知 事務局機構

事務局職員数67名 平成29年4月1日

みどり 水土里ネット愛知

▶ <http://www.aichi-doren.or.jp>
▶ E-mail:midori-net@aichi-doren.or.jp



総務部

● 総務課 052-551-3611 (FAX052-551-3630)

事業部

- 計画課 3F 052-551-3614・3616・3618・3620・3621 (FAX052-551-3631)
4F 052-551-3623 (FAX052-551-3632)
- 整備課 052-551-3622・3626 (FAX052-551-3632)
- 施設管理課 052-551-3637・3638 (FAX052-551-3634)